

平成 23 年 12 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社マキヤ
代表者名 代表取締役社長 川原崎 康雄
(コード番号 9890)
問合せ先 取締役財務部長 矢部 利久
(TEL. 0545-36-1000)

不適切な会計処理の可能性について

このたび、当社において、不適切な会計処理が行われていた可能性のあることが判明いたしました。

現在、事実関係の調査に取り組んでおりますが、現時点において判明している内容について取り急ぎ下記のとおりお知らせいたします。

株主の皆様をはじめ、関係各位にはご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 事実の概要

当社の I T 管理部門（システム管理・運用及び I T 統制管理担当部門）において、売価還元法計算による還元率を検証していたところ、平成 23 年 9 月末のたな卸資産について、特定の仕入担当者の部門において異常値が発生していることが判明したため、NFD 商品部（ノンフード商品の仕入担当部門）及び経理部において原因調査を行ってまいりました。

その結果、平成 19 年 4 月頃から不正な売価改訂伝票、仕入伝票及び返品伝票操作で過大な売価改訂を行うことにより、たな卸資産の売価が高額に設定され、期末たな卸資産が過大に計上されている事実が発覚いたしました。

なお、現時点で判明している期末たな卸資産の過大計上額は、平成 23 年 9 月末現在で約 92 百万円（平成 23 年 9 月末連結期末たな卸資産総額の 1.88%）であります。

2. 今後の対応について

当社は、本件の発生を極めて深刻な事態と受け止めており、当社代表取締役社長の川原崎康雄を委員長とする内部調査委員会を設置し、厳正かつ徹底した事実関係の究明及び再発防止策を現在鋭意調査中であります。

なお、調査結果及び過年度の業績影響等につきましては、その内容が確定次第、決算短信及び有価証券報告書等を訂正し、本年 12 月 28 日までに開示いたします。

以 上